

【子どもの育ちを支える関わり】
子どもは、できるようになったことなどを好きな人に伝えようとします。
思いを認められることで、確かな力となり、自らの行動として現れるようになります。
子どものその時々が発信”あのね…”に、しっかり耳を傾けましょう。

重点内容	目安の 教科	段階	チェック項目	学びの度合			重点取組 年・学期
				A	B	C	
洗濯機・手洗い	職業家庭	中Ⅱ	洗濯機のボタン操作ができる				
	算数 職業家庭	中Ⅱ	適当な量の洗濯物で洗濯することができる				
	算数 職業家庭	中Ⅱ	適量の洗剤を使用することができる				
	職業家庭	中Ⅱ	衣類の乱れやポケットの中身を確認して洗濯することができる				
	職業家庭	中Ⅰ	もみ洗い、つまみ洗い、おし洗いをするすることができる				
	職業家庭	中Ⅰ	衣類を手ですすぎ、絞ることができる				
	職業家庭	中Ⅰ	靴を洗うことができる				
洗濯干し	職業家庭	中Ⅰ	干す前に衣類のしわ伸ばしをすることができる				
	職業家庭	中Ⅰ	干すときに襟や袖などの衣類の乱れを直すことができる				
	職業家庭	中Ⅰ	洗濯物によって干す道具を選ぶことができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	ピンチハンガーのバランスがとれている				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	ハンガーを適切に使用することができる				
	職業家庭	中Ⅰ	ピンチハンガーから衣類を外す際は、一つずつ外すことができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	ハンカチ、タオルは角を合わせて畳むことができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	靴下は形状を合わせて折ることができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	半袖の上衣を畳むことができる				

衣類畳み	算数 職業家庭	中Ⅰ	短パンを畳むことができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	長袖の上衣を畳むことができる				
	算数 職業家庭	中Ⅰ	長ズボンを畳むことができる				
	算数 家庭	高Ⅰ	畳んだ衣類を所定の場所に収納することができる				

学びの度合記入方法；該当の□をラインマーカーで塗る
A段階；支援者と一緒に行動することができる B段階；できるだけ自分で行動することができる C段階；自分から行うことができる

領域
小Ⅰ；小学部Ⅰ段階 小Ⅱ；小学部2段階 小Ⅲ；小学部3段階
中Ⅰ；中学部Ⅰ段階 中Ⅱ；中学部2段階
高Ⅰ；高等部Ⅰ段階 高Ⅲ；高等部3段階

<p>1. つながろう</p> <p>(人や社会と関わり合う力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達<small>ともだち</small>の気持ち<small>きもち</small>をかんがえる。 ・何を<small>なに</small>したいのか、何を<small>なに</small>してほしいのか、わかるように伝える。 ・みんなと<small>いっしょ</small>の活動<small>かつどう</small>で約束<small>やくそく</small>、ルール<small>まも</small>を守って行動<small>こうどう</small>する。 ・自分で身だしなみ<small>み</small>を確認<small>かくにん</small>する。 	<p>2. じぶんをしろう</p> <p>(自分のことを見つめ行動する力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好き<small>な</small>ところ、直<small>なお</small>したいところ<small>わ</small>が分かる。 ・目標<small>もくひょう</small>を立てたり、振り返って<small>た</small>次にがんばることを決めたりする。 ・自分で行動<small>こうどう</small>を切り替<small>か</small>えて活動<small>かつどう</small>する。
<p>3. こうどうしよう</p> <p>(課題を解決する力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が将来<small>しょうらい</small>何<small>なに</small>をしているか、想像<small>そうぞう</small>することができる。 ・本<small>ほん</small>やパソコン<small>ぱそこん</small>、テレビ<small>てれび</small>からの情報<small>じょうほう</small>をまとめる。 ・自分にできる課題解決<small>かだいかいけつ</small>の方法<small>ほうほう</small>を見つめる。 	<p>4. つくりだそう</p> <p>(自分の将来を考え行動する力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来<small>しょうらい</small>のやってみ<small>し</small>たい職業<small>しよくぎょう</small>を知る。 ・いろいろな職業<small>しよくぎょう</small>があることを知る。 ・目標<small>もくひょう</small>を達成<small>たっせい</small>できるよう、最後<small>さいご</small>まで取り組む。 ・施設<small>しせつ</small>や交通機関<small>こうつうきかん</small>を知り、目的<small>し</small>に合わせ利用<small>もくてき</small>をする。



じぶん 中学部 用
自分のことを知ろう！

年組名前

① 自分のよいところ、好きなことを書きましょう。

◇自分のよいところは、こんなところ！

◇好きなこと

② 学校での仕事(係活動など)、家庭での役割(手伝い)を書きましょう。

◇仕事(係活動など)

◇役割(手伝いなど)

③ とくいなことを書きましょう。

◇勉強

◇生活面

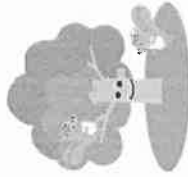
④ 将来どんな仕事をしてみたいですか？

⑤ 身につけたい力・がんばりたいことは何ですか？

(1) 将来に向けて身につけたい力は何ですか？

(2) 今年、身につけたい力・がんばりたいこと何ですか？

身につけたい力・がんばりたいこと		できた	もうすこし
日常生活・洗濯			
清掃			
楽しみたいこと			



保護者押印欄	目標	評価
--------	----	----

意欲を育む授業改善シート

記入者

実施日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
授業者名		対象学年・学級	
教科名等		単元名・題材名	
項目	観点		良かった点 今後さらなる充実に向けて
・ 個別の目標は児童生徒の実態に合っていたか。 ・ 指導内容は学習指導要領に即していたか。			
主体的に取り組んでいる姿	・ 児童生徒が教師に注目して話を聴くことができたか。		
	・ 児童生徒が教材をよく見たり、自分から触ろうとしたりしていたか。		
	・ 児童生徒が自分からやりたいという気持ちを表出することができたか。		
	・ 自分で考えて判断し、選択することができたか。		
	・ 児童生徒が自分なりに工夫して取り組もうとすることができたか。		
指導の工夫 (ICT機器の活用も含めて)	【児童生徒が活動の見通しが持てている】 ・ 一人一人が見通しを持てるような工夫 ・ 教師と児童生徒が目標を共有できるための工夫		
	【児童生徒ができたわかったという実感がある】 ・ 指導の手立ての工夫 (教材・教具、教師の関わりなど)		
	【児童生徒が認められ、達成感を味わっている】 ・ 児童生徒同士での認め合いの工夫 ・ 振り返りの工夫 ・ 評価の工夫		
・ 安全面に配慮できたか。			
その他の 気付き・感想など			